

# いじめ問題の対策は

村上 博昭 議員

## 答 第三者委員会の設置を検討



いじめを生み出さないために  
いじめはぜったいダメ!!

学校教育課長 指導力に問題があれば、状況確認を行い指導研修により改善する。また、子どもへのアプローチからフォローアップの部分までを組織的に行い、管理職にも関わりを持たせながら生徒指導に努める。

**問** 滋賀県大津市の中学生が自殺するという事件を始め、他の学校でも教師の対応のずさんさが取り上げられたが、本市ではどのような対策が取られているのか。第三者委員会の設置の検討は。

**教育長** 教育長をトップに、教育委員会の指導主事、課長、スクールカウンセラー、生徒指導担当指導主事、臨床心理士を中心に対策本部を設置し対応にあたる。

### 教職員の指導力は

**問** いじめを生み出さないための取り組みは、シ

ステムづくりも大切だが、教職員の指導力、教職員と子どもたちとの信頼関係が大切だと考えるが。

**学校教育課長** 指導力に

**研修レポート**  
**議会運営委員会 研修報告**  
平成24年11月26日～28日

今回は、京都府亀岡市と宇治市の「議会改革の取り組み」について研修を行った。

亀岡市では、平成10年に議会運営委員会で「地方分権と市議会の活性化」について議論が開始され、平成23年に始まった議会改革推進特別委員会に引き継がれている。

「第4次亀岡総合計画」夢ビジョン」の具現化に向け、着実に前進している。議会改革の全国総合ランキングでも上位に入っており、議員個人が議会改革について積極的な姿勢であった。

宇治市の議会改革は、平成19年に議長より議会運営委員会に対し「議会改革に関する諸問題の調査、検討について」が諮問され、平成20年10月



研修風景（亀岡市）

京都府亀岡市 人口 92,200人  
京都府宇治市 人口189,500人

の間、21回の委員会を開催、議長へ答申されている。

また宇治市では、市政60周年の議会広報活動として「中学生議会」が開催された。未来を担う市内の中学生に、議会のしくみや役割を体験してもらうことにより、議会を身近に感じ、市政に対する意識の高揚を図ることを目的とした事業であった。

筑後市でも来年度、市政60周年を迎えるが、市民にもっと議会を身近に感じていただく、市民に議会をもっと知っていただく「何か」を考える良い機会となった。